

IISNEWS

☆講 演☆

- ◇助教授 田中尚, 大学院学生 花井正美「建物の安全の確立——建築構造設計に関する Operation research その1——」第9回応用力学連合講演会 (1959. 8. 29~31)
- ◇助教授 久保慶三郎「走行車停止装置の力学的解析」同上 (同上)
- ◇助教授 植村恒義, 技術員 山本芳孝「高速度写真による衝撃試験の破壊機構の研究」同上 (同上)
- ◇助教授 森 政弘「製品の多様性と自動制御との関係」日本繊維機械学会オートメーションシンポジウム (1959. 9. 4)
- ◇教授 森脇義雄, 技官 河村達雄「高速度掃引式シングルチャンネル波高分析器」第3回日本アイソトープ会議 (1959. 9. 16)
- ◇教授 岡本舜三, 助教授 久保慶三郎, 大学院学生 伯野元彦「名神高速道路区間の常時微動と設計震度の提案」第3回地震工学研究発表会 (1959. 9. 18)
- ◇教授 岡本舜三, 教務員 加藤勝行, 大学院学生 伯野元彦, 臨時筆生 荒川常昭「アーチダムの振動」同上 (同上)
- ◇教授 久保田広「レスポンス函数実用化の研究」レンズ性能研究会 東大生産技術研究所において (1959.9.18)
- ◇助教授 小瀬輝次「レスポンス函数測定機試作報告」同上 (同上)

- ◇助手 斎藤弘義「方向性を有するレスポンス函数の表示法」同上 (同上)
- ◇助教授 安藤良夫「アルミニウム溶接継手の静的引張り試験および静的曲げ試験」溶接部および鋳工品の非破壊検査と強度に関するシンポジウム, 日本学術会議第3回国際非破壊試験組織委員会主催 一ツ橋学士会館において (1959. 9. 18)

☆生研職員海外渡航状況☆

- ◇第1部 一色貞文教授は 1959 年度国際溶接会議に参加のため, 6月21日よりユーゴスラビヤに渡航し, 8月29日帰国した。
- ◇第2部 亙理 厚教授は, 米国および欧州バス工業専門視察団員として, 7月21日出発, 約4カ月間欧米諸国を視察する。
- ◇第5部 坪井善勝教授は, 薄殻理論に関する I U T A Mシンポジウムに参加するため, 7月17日オランダに出発し, 約2カ月後に帰国の予定である。
- ◇第4部 野崎 弘助教授は, ベルギーのリエージュで9月14~19日に行なわれる国際写真科学討論会に, 日本代表の一員として参加することとなり, 9月4日同地に向け出発した。会議終了後は, 欧米の写真, 電子写真界を視察して 11 月上旬帰国の予定である。
- ◇第3部 高木 昇教授は, 核燃料検査技術調査団団長として, 欧米諸国を視察するため9月21日出発した。期間は約2カ月の予定である。

IISNEWS

筆 者 紹 介

- ◇菊池真一 教授 工博 専攻 光化学・電気化学
- ◇坂田俊文 技術研究生 専攻 写真・印刷
- ◇大石恭史 富士写真フィルムKK
- ◇本多健一 研究員 専攻 写真化学
- ◇木村芳郎 三菱製紙KK
- ◇鳥飼安生 助教授 理博 専攻 音響学
- ◇古関靖夫 富士写真フィルムKK
- ◇藤森聰雄 助手 専攻 同上
- ◇野崎 弘 助教授 工博 専攻 電気化学・半導体化学
- ◇李 孝雄 技術研究生 専攻 同上

出版委員	委 員	委 員	*今 岡 稔	専門委員	星 野 昌 一
出版委員長 久保田 広	森 政 弘	西川 精 一	関 野 克	齋 藤 成 文	
委 員 富永 五 郎	*尾上 守 夫	井 口 昌 平	編 集 室	下 村 潤 二 朗	
北川 英 夫	黒川 兼 行			水 野 晴 明	
高橋 幸 伯	福 田 義 民				
					* 印 当番委員

第 11 卷 第 10 号

生 産 研 究

(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として, 毎月1回発行する)

1959 年 10 月 1 日 発 行

頒価 60 円	編 集 者 久 保 田 広	発 行 者 福 田 武 雄	印 刷 所 三 美 印 刷 株 式 会 社 東京都千代田区神田多町2の7	発 行 所 東 京 大 学 生 産 技 術 研 究 所 千 葉 市 弥 生 町 1 電 話 千 葉 (2) 0 2 6 1 (代 表)
---------	---------------	---------------	---	---